

3 実施事項

(3) 取組事例の紹介について

1) 県の取組事例

取組事例の紹介

◆メディアとの情報共有の場について（県）

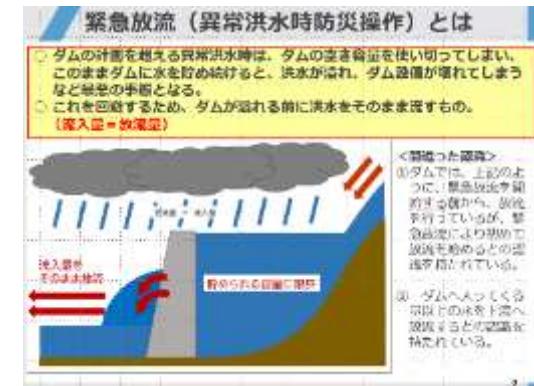
- 令和元年東日本台風において城山ダムでは、昭和40年の運用開始以来、初めて緊急放流を実施し、記者発表や緊急速報メールなど様々なツールにより、住民に情報発信していたが、**発信者である県と受け手である住民との間で認識が異なっており、危機感や切迫感が十分に伝わらなかつた。**
- ダムの防災情報を住民に正しくわかりやすく伝わるよう、緊急放流による影響や令和2年度に導入した事前放流と特例操作の新たな操作等について、本格的な台風シーズンに備え、**メディアの方々と情報共有する場を令和3年度に設けた。**

【内 容】

- ・ダムの洪水調節について(大雨時・異常洪水時の操作)
- ・洪水調節機能の強化及びその効果(事前放流・特例操作)
- ・記者発表及び記者会見について(実施の目安・内容など)
- ・情報提供の取組みについて

【効 果】

- **ダムの用語や操作、記者発表のタイミング等について共有でき、メディアの方々と同じ認識を持つことができた。**



取組事例の紹介について

◇ 洪水浸水想定区域の看板設置（県）

- 本県では、住民の自主的な避難を促すソフト対策の一環として、洪水浸水想定区域を周知するため、浸水が想定される県管理河川に、看板の設置を進めている。
- 平成30年度は、洪水予報河川（相模川・酒匂川）を対象に実施し、令和元年度から、水位周知河川へ拡大し、実施している。

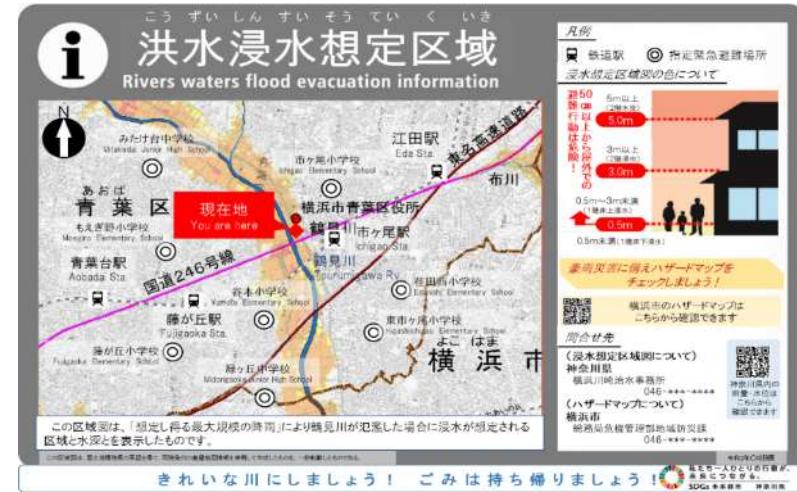
【これまでの設置状況】合計103基設置

- 洪水予報河川：計35基
(相模川22基、酒匂川13基)
- 水位周知河川：計68基
(田越川、金目川、境川、鶴見川等)

【今後の予定】

引き続き、溢水した河川や氾濫危険水位を超過した河川などを中心に、設置を進める。

各市町村におかれましては、設置にあたっての場所の選定 及び ハザードマップ閲覧の二次元コードの貼り付けについて、ご協力お願いします。



取組事例の紹介について

◇ 水防演習の実施（県）

○水防演習は、水害から県民の生命や財産を守るために、水防団や防災機関等の水防活動に従事する者の技術の向上や地域住民の水防に対する理解を深めること等を目的に、実施箇所の近隣水防管理団体（市町村）とともに、隔年で実施している。

【令和8年度】 日 時：令和8年5月31日（日）予定

場 所：相模三川公園（相模川左岸、新相模大橋下流）

主 催：県、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市

参加機関：国土交通省、陸上自衛隊、神奈川県警察、民間機関ほか

【令和6年度の実施結果】

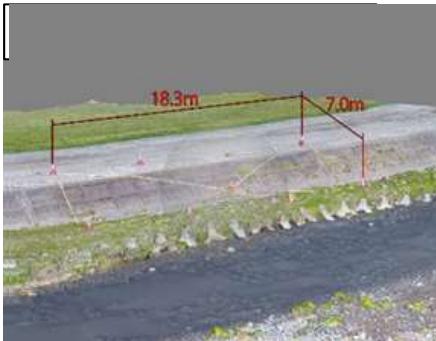
<第1部> ※下線は今回新規実施

○水防工法訓練

洗掘防止工（木流し工、シート張り工等）

越水防止工（積み土のう工、水マット工等）

ドローンによる3次元点群データの取得等



<第2部>

○救出救助訓練

ボートによる中州からの救助

埋没車両の救助、救助者搬送等

○排水ポンプ車出動要請訓練等



取組事例の紹介について

◇県広報紙「県のたより」で風水害対策の特集記事を掲載

○出水期前の令和7年6月号に風水害対策の特集記事を掲載し、災害情報の収集方法や事前準備の内容、マイ・タイムラインの作成について広報を行いました。

2 かながわ版のたより 令和7(2025)年6月号 No.843

かながわ版のたより 令和7(2025)年6月号 No.843

The screenshot shows a page from the June 2025 issue of the Kanagawa Prefectural Gazetteer. The main title is 'Wind and Water Disaster Prevention' (風水害に備えて). It includes sections on information collection methods, pre-disaster preparation, and the creation of a 'My Timeline' (マイ・タイムライン).

Information Collection Methods: Includes links to the Land Disaster Information Portal (国土災害情報ポータル), Disaster Prevention Information Portal (県災害情報ポータル), Rainfall and Water Level Information (県雨量水位情報), and Hazard Map (ハザードマップ).

Preparation: Includes tips for preparing before disasters, such as collecting information and preparing emergency items.

My Timeline (マイ・タイムライン): A diagram showing a timeline from 1 day to 1 month before a disaster to 0 hours after. It highlights key events and evacuation levels (避難レベル) corresponding to different types of disaster information (防災情報). The timeline includes sections for 'Evacuation' (避難), 'Autonomous Evacuation' (自主避難), 'Evacuation of the elderly' (高齢者等避難), and 'Evacuation instructions' (避難指示). It also includes a section for 'Family discussion' (家族で話し合って) to determine roles and times.

2) 県内自治体の取組事例

取組事例の紹介

◇ 横浜市水防災情報の機能拡充について（横浜市）

○市内外の水位計86箇所、カメラ画像76箇所を公開している**横浜市水防災情報**のページに今年度より「雨雲レーダー」「下水道水位情報」を追加しました。

【令和7年度】

<従来> 雨雲と水位の複数ページを遷移し、確認（情報取得の煩雑さ）

<現在> 同一画面で雨雲を確認可能（情報取得の容易化）

【今後の予定】

過去と予測の雨雲も表示できるよう改修を行っていく予定です。

<Before>



<After>

雨雲レーダー 下水道水位情報 追加

★複数のページやアプリの遷移の必要なし！
★いつも見ている水位観測所と雨雲を一体的に確認することで、今後の水位上昇を予測しやすく！



取組事例の紹介

◇ 防災講演会について（寒川町）

- 災害時自身の身を守るために、「あんどう りす」氏を講師に招き、寒川総合体育館で防災講演会と、同会場で避難所体験会を実施

【令和7年度】

- ・ 8月16日に実施（約120人参加）

【今度の予定】

- ・ 講師が変わるかもしれないが、今後も実施

講師の指導の下、ばねばかりに布の輪を付け、脚に引っ掛けて水圧疑似体験をしている様子



過去の水害の映像と浸水深ポスター

取組事例の紹介

◇ 総合防災訓練について（大磯町） 参加対象：町内会・自主防災組織・民生委員等 ～避難行動要支援者安否確認訓練～

○個別避難計画未作成者の計画作成や作成済みの計画の検証及び充実を目的に実施し、町内会や自主防災組織、及び民生委員等の避難支援関係者が、個別避難計画作成対象者となる避難行動要支援者の所在等について確認するとともに、作成済みの個別避難計画の内容について確認する訓練を実施。

【今度の予定】

- ・個別避難計画の作成促進は今後も継続的に実施していく。



避難行動要支援者の避難訓練の状況



地区会館の避難所開設訓練の状況



避難所開設訓練の状況

取組事例の紹介

◇ 町内小学校で防災講座を実施（箱根町）

- 子供達への災害に対する意識を向上させるため、小学校で防災講座を実施。過去の事例を写真等で見てもらい、避難に必要な物資を自分達で選びリュックに入れてもらう等の体験も実施した。

【令和7年度】

- ・9月10日 箱根恵明学園で実施（児童18名、教職員等4名参加）

【今度の予定】

- ・学校と調整し今後も実施を検討する。



9月10日に実施した防災講座の状況

3) 參考資料

横浜・川崎地域

取組事例

取組事例の紹介

◆青葉区内の小中学校でマイ・タイムライン作成講座を実施しました（横浜市）

対象者：青葉区内の小中学校の児童・生徒

- 青葉区内の小中学校の児童・生徒を対象に、台風や大雨の水害等、これから起こるかもしれない災害について説明を行いました。その上で、自分自身の避難行動計画について考える、マイ・タイムライン作成講座を実施しました。

【令和7年度】

- ・15校において実施（約1,500人参加）※10月末時点

【今度の予定】

- ・マイ・タイムラインの啓発は、今後も継続的に実施していく。



小学校で実施したマイ・タイムライン作成講座の様子

取組事例の紹介

◇市のさまざまな広報ツールを活用したマイ・タイムラインの普及啓発について（川崎市）

- マイ・タイムラインの作成について
市広報ツールを活用して発信するなど、
日頃からの防災への備えについて啓発
を行った。

【令和7年度】

- かわさき市政だより(令和7年6月号)にて、当市の防災アプリなどを紹介。
- 出水期には、市公式X(旧Twitter)等のデジタルレツルを活用し、マイ・タイムラインの普及啓発を行うなど災害への備えについて、発信を強化。

The image shows several panels from Kawasaki City's official magazine (R7 June issue, page 1301). The top panel features a large red banner with the text '市のアプリ 大活用術' (Great Use of the City's Apps). Below it, there are three main sections with illustrations:

- “もしも” のときの味方!** (A friend in times of emergency!): Illustrations show a person using the 'kawasaki Disaster Prevention App' on their smartphone.
- 避難情報の調べ方が分からず!** (I don't know how to check evacuation information!): Illustrations show a person looking at a map and a smartphone screen, with text explaining how to use the app for evacuation information.
- 防災無線の内容が聞き取れなかった…!** (I couldn't hear the disaster warning content…): Illustrations show a person listening to a radio and a smartphone screen, with text explaining how to use the app for disaster warning content.

Each section includes a QR code for download and a small note about the app's features.

かわさき市政だより
(令和7年6月号)

三浦半島地域

取組事例

取組事例の紹介

◇ 総合防災訓練について（逗子市）

- 災害時に在宅避難者が必要としている物資を把握するため、Web上で、情報発信訓練を実施するもの

【令和7年度】

- ・11月から12月までの計5回、市の総合防災訓練開催中にWeb上で回答をしてもらうもの

【今度の予定】

- ・来年度の実施については未定



Google Formを用いた回答形式

災害時の地域情報発信訓練 にご参加ください！ 「スマホでニーズを行政へ！」

Q.なぜ、スマホで防災訓練をするの？

A.発災から3日間(72時間)は、人命救助を最優先し、水、食料など生きるために必要な物資は、拠点や各家庭での備蓄品による対応になりますが、発災の約3日目以降は、避難生活の安全・安定化のために、住民の安否、避難場所、ライフライン・生活物資等、地域の皆さまのお困りごと(ニーズ)を集約して行政に伝えることにより行政が効果的な対応を実施するためです。



「スマホの操作方法」

私のポチッ！が

家族をまもる



二次元コードをカメラ機能または、読み取りアプリで画面に写します。



世帯から回答者1名を選んでください。

当日09:00～12:00の間に回答してください。

「ウェブサイトを開く」の文字が
画面に表示されたら指先でタップ

逗子市経営企画部防災安全課 046-873-1111(内線332)

取組事例の紹介

◇河川氾濫事例を用いた町民周知について（葉山町）

○近年多発している線状降水帯の影響で、道路の冠水や河川の氾濫が多くみられます。町民の危機意識の向上に繋げるべく、町内会の自主防災訓練において防災安全課職員による周知（防災講話等）を行っています。

【今度の予定】

- ・今後も不定期で実施予定



藤沢・相模原地域

取組事例

各構成員の取組について

◆防災ガイドブック等の普及・啓発について（相模原市）

○市で作成している「さがみはら防災ガイドブック」やマイ・タイムラインシート等の防災に関する資料について、市内図書館等に掲示し普及啓発に努めた。

【令和7年度】

市ホームページへの掲載のほか、危機管理統括部を含む関係窓口等で配布を行っています。

【今後の予定】

引き続き窓口配布を行うとともに、防災のイベント等で配布し、普及啓発に努めます。



図書館での掲示風景

防災に対する市民の意識高揚を図るため、防災に関する冊子やリーフレット等を作成し配布しています。



<参考>

【さがみはら防災ガイドブック】
日頃からどんな準備をしておけばよいか、災害時にどのような行動をとればよいかなどの事柄をまとめた冊子。

取組事例の紹介

◆ やさしいハザードマップについて（鎌倉市）

○令和6年3月に、見やすさを重視し、平易な日本語を用いたやさしいハザードマップを作成した。子どもなどにも分かりやすい内容となっており、小学校での防災講話などで活用しており、広くハザードリスクを周知している。



取組事例の紹介

◇ 洪水ハザードマップ/マイ・タイムラインについて（大和市）

- 市民の災害時における避難行動や情報収集などの意識づけとして、防災講話にて意識啓発を実施

【令和7年度】

- ・4月1日から10月31日までに、自治会、自主防災会及び学校等に7回の防災講話を実施（約300名が参加）

【今度の予定】

- ・今後も実施



7月26日実施(柳橋コミュニティセンター)



9月11日実施(桜丘小学校)

取組事例の紹介

◇水防訓練(広報活動及び残留者確認)について（海老名市）

- 令和元年台風第19号の教訓を鑑み、「海老名市相模川氾濫基本的対処方針」及び「家屋倒壊等氾濫想定区域等広報活動及び残留者確認マニュアル」を作成。

消防本部及び消防団は、相模川の氾濫のおそれがある場合において、家屋倒壊等氾濫想定区域及び浸水想定区域の住民に対して広報車両による避難情報の伝達及び戸別訪問による残留者の確認を実施します。

【令和7年度】

消防団を対象に、出水期前の5月に実動訓練を実施。

「家屋倒壊等氾濫想定区域等広報活動及び残留者確認マニュアル」に基づき、家屋倒壊等氾濫想定区域の対象家屋の確認とチラシの投函を実施。



水防訓練の様子

**身を守るには
早めの避難が重要です!!**

お住いの地区は相模川の氾濫時に
建物が倒壊・流出する危険性があります。
城山ダムの緊急放流に伴い、
相模川が氾濫するおそれがある場合は
**早めに市の東側の高台など
安全な場所へ避難してください。**
皆様のご協力をお願いします。

QRコードから
ハザードマップを確認できます。

お問い合わせ先：海老名市市長室危機管理課
TEL:046-235-4790



投函したチラシ

取組事例の紹介

◇ 市の水害対策に関する講話を実施しました（座間市）

- 相模川洪水浸水想定区域である新田宿・四ツ谷地区の住民からの要望を受け、市の水害対策に関する講話を実施しました。

【今後の予定】

他の地域に対しても、要望に応じて、地域特性に合わせて講話を実施



9月13日に実施した講話の様子

取組事例の紹介

◇ 防災講座でのマイタイムラインの作成について（綾瀬市）

1 目的 風水害に備え、マイタイムラインを有効活用できるように、昨年度全戸配布（ハザードマップ）をした、マイタイムラインを作成する要領を説明する。

2 内容等 防災講座にて、マイタイムラインの作成をしていただくこととしている。

令和7年度中に市内在住、在勤（在学の方でおおむね10人以上で構成される団体やグループ）を対象に危機管理課に依頼がありましたら、出向いております。

【今後の予定】

- ・引き続き防災講座や
自主防災訓練において、
マイタイムラインの作成
を促していきたい。



令和6年3月に新たに全戸配布したハザードマップとマイタイムライン
(マイタイムラインは裏表紙に掲載)

厚木地域

取組事例

取組事例の紹介

◆ 市公式LINEの防災メニュー拡充について（厚木市）

- 市の公式LINEに、マイ・タイムライン作成や防災用品チェックリストの確認の機能を整備

【令和7年度】

- ・ 6月15日に厚木市の広報で市民の皆様へ周知

① ②

①

非常用持ち出し袋（一次持ち出し品）

②

あなたのマイ・タイムライン

置き場所

《貴重品》
※持ち出し袋の中に入れずに、すぐに持ち出せるようにしておく

- 現金（小銭含む）
- 携帯電話
- マイナンバーカード（身分証明書）
- 健康保険証
- 通帳・印鑑
- 身分証明証
- 病院の診察券

あなたの自宅の状況

一戸建て
 集合住宅

【階】

1階
 2階
 3階以上

自身・同居者の状況

幼い子どもがいる
 高齢者がいる
 身体が不自由な人がいる
 ペットがいる

平塚地域

取組事例

取組事例の紹介

◆要配慮者利用施設職員向け気象情報活用に関する研修会の実施（平塚市）

- 災害時における要配慮者利用施設の避難計画の実効性確保のため、横浜地方気象台から講師を招き、気象情報の見方についての説明、災害対策課職員によるハザードマップの活用方法に関するグループワーク、及び避難確保計画等に関する説明を行う研修会を実施した。

【令和7年度】

- ・ 10月3日 平塚市役所本館において実施（約30人参加）

【今度の予定】

- ・ 来年度以降も定期的に実施していく予定

グループワーク

ハザードマップ上に事前に、プロットしています。



そして、それぞれに、想定の居住者を設定しています。

10月3日 15時に 台風にとも グループワーク

金目川の河川水位上昇による、「警戒視点」

- 1 浸水深は？
- 2 家屋倒壊等氾濫想定区域？
- 3 浸水継続時間は？
- 4 避難の方法 安全な場所は？
- 5 避難の経路は？ 準備時間・移動時間は？
- 6 配慮が必要なことは？

などなど



10月3日に実施した研修会の状況

取組事例の紹介

◇ 水害対策講習会について（秦野市）

○水害リスクが高い自治会向け講習会を実施

- ・6月28日（土）ひかりの街コミュニティーセンターにおいて実施（約20人参加）
- ・水害リスクの高い自治会において講習会を実施。土のう積みや水中ポンプの使い方をレクチャーし、水害対策の知識向上を図りました。



6月28日講習会の様子



土のう積み



水中ポンプ取り扱い

取組事例の紹介

自治会回覧を通じた啓発活動（伊勢原市）

- 令和6年台風第10号の教訓を踏まえ、改めて風水害に対する備えが重要であることを周知するため、自治会回覧を活用した。

【令和7年度】

各地区の代表者で構成する自治会連合会理事会（10月20日開催）で趣旨説明を行い、全自治会に回覧を実施した（102自主防災会・3万6千回覧チラシを作成）。

【今度の予定】

出水期や台風シーズン等に合わせた内容を定期的に「防災新聞」として実施する予定

取組事例の紹介

◇ ハザードマップの周知について（二宮町）

【令和7年度】

- ・中里地区の自主防災訓練で町のハザードマップの周知を実施しました。
(約20人参加)

【今度の予定】

- ・今後も実施



県西地域

取組事例

取組事例の紹介

◇河川氾濫予測災害感知システムについて（小田原市）

- 過去に溢水や越波の被害があった河川・水路及び海岸に防災用監視カメラを設置した。大雨や台風の際に、自宅付近や通行予定の道路を確認し、被害を避け自主的な避難を呼びかける。（令和4年度設置・5年度より稼働開始）

【令和5年度以降】

- ・降雨時などにシステムから6時間後の洪水・氾濫予測を入手し、市民への避難指示等の情報発信に活用する。また、監視カメラの観測データは原則として市民が閲覧できるよう公開している。

【今後の予定】

- ・新たに設置が必要な箇所を検討するとともに、今後も継続して運用をする



市ホームページ（閲覧ページ抜粋）

取組事例の紹介

◇ 自治会公民館を自主避難所としての活用について（南足柄市）

- 市内26の自治会において、自治会公民館を自主避難所として活用できるよう開設訓練を実施

【令和7年度】

- ・令和7年度市総合防災訓練（10月19日）において、34自治会の内26自治会において実施（約2,000人参加）

【今後の予定】

- ・次年度以降も実施



10月19日に実施した防災訓練の状況

取組事例の紹介

◇ おしあけ出前講座について（中井町）

- 防災意識向上のため、各自治会に防災士が出向き、講和を実施

【令和7年度】

- ・9月13日から10月5日までの内2日間、2会場において実施（約40人参加）

【今度の予定】

- ・引き続き、自主防災会のニーズを聞き取りつつ、講演会を実施



9月13日に実施した古怒田地区の状況

取組事例の紹介

◇ 防災ハンドブックにマイタイムラインを掲載して啓発(山北町)

- 令和7年3月に防災ハンドブックを改訂し、最近の災害発生に伴う教訓事項や、山北町の過去の災害と地域の特性を踏まえて作成した。

特に、「わが家の『マイ・タイムライン』」、スマートフォンアプリを活用した「土砂災害・洪水ハザードマップを持ち歩こう」などを掲載して町内に全戸配布し、土砂災害・洪水等への備えについて啓発を図った。



わが家の「マイ・タイムライン」

The screenshot shows the 'Avenza Maps' app page with the title '土砂災害・洪水ハザードマップを持ち歩こう！' (Carry the soil erosion and flood hazard map!). It includes sections for 'スマホアプリ(Avenza Maps)で防災マップを持ち歩けませんか？' (Can you carry the disaster prevention map with you using the smartphone app Avenza Maps?), '便利な機能がたくさんあります！' (Many convenient functions!), and 'アプリと地図をスマホやタブレットにインストールしてみましょう！' (Install the app and map to your smartphone or tablet!). It provides step-by-step instructions for both iPhone and Android users on how to download and use the app to view hazard maps.

土砂災害・洪水ハザードマップを持ち歩こう！